## 診療科紹介:眼科

今回は眼科のご紹介です。

平成21年3月で長年眼科医長を務められた高良医師が退職となり、4月から島田と井上の二人で診療を行っております。月、水、木、金曜日が外来となっており、火曜日、木曜日の午後に手術を行っております。 火曜午前中、水曜午後は特殊外来となっております。 緊急患者の対応や電子カルテの導入、診察前検査の内容などにより大変混雑する時間もあり、患者さんをお待たせすることもあるかと思いますが、少しでも多くの患者さんに満足いただけるようスタッフー同がんばっていきたいと思います。

さて、今回は普段私たちがよく治療に当たる疾患の代表として、白内障と糖尿病網膜症の二つについて簡単にではありますがお話ししたいと思います。

#### <白内障>

白内障とは眼の中の水晶体という部分が白く濁り、視力が低下してくる病気です。原因としては年齢からくるものが一番多いのですが、そのほかにも薬の副作用や外傷、生まれつきのものなど様々な原因でなるこ

とがあります。白内障自体は白髪などと同じで決して悪いものではありませんが、白髪が黒く戻らないのと同じで、一度濁ると薬などではよくなりません。また、カメラに例えるとレンズに当たる部分が濁るので、その上にいくらメガネなどでレンズを足しても濁りはとれません。治療には手術が必要となります。手術は通常であれば局所麻酔にて15分前後で終了し、他の手術と比べれば比較的安全な種類の手術になりますが、他の病気があったり、あまり白内障を放置しすぎると手術が難しくなる場合があります。

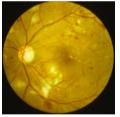


【 加齢性白内障 】

#### <糖尿病網膜症>

糖尿病には3大合併症の一つに網膜症があります。この糖尿病網膜症は眼をカメラに例えるとフィルムに

当たる部分が痛んでくる病気です。この病気の恐いところは、初期には自覚症状がほとんどなく、ごくわずかな出血から始まり、やがて増殖膜が出現し、最終的には失明に至ることもあります。自覚症状が少ないため、経過が悪くなってから発見されがちですが、一度発症するとなかなか治すのは難しく、進行を抑えるにはレーザー治療や手術等が必要になります。しかし血糖のコントロールが悪いといくら治療してもどんどん病気が進行してしまうので血糖のコントロールも重要となります。レーザー治療は外来にて行っておりますが、前述の通り放っておくと失明の恐れもある病気なので、糖尿病のある方は症状がなくても定期的な眼底検査を受ける事をおすすめします。



【 糖尿病網膜症 】

当科ではそのほかにも緑内障や黄斑疾患など様々な病気に対して治療を行っております。何かご不明な点があればお気軽にご相談ください。

(文責:眼科 島田 一男)

《編集後記》 暑い日が続いていますね。熱中症は、午後2時から午後5時の間の発生率が高いそうです。炎天下での戸外作業は極力避けましょう。また、こまめに水分補給することが大切です。汗をかいたら塩分補給も忘れずに、楽しい夏をお過ごし下さい。 発行: 広報委員会

〒432-8580 浜松市中区富塚町328 TEL 053(453)7111 : FAX 053(452)9217

URL <a href="http://www.hmedc.or.jp">http://www.hmedc.or.jp</a> : E-Mail <a href="koho@hmedc.or.jp">koho@hmedc.or.jp</a>

## 県西部浜松医療センター広報誌

No. 12 (平成21年8月発行)

# 动机药61



心血管撮影室が新しくなり、装置もバイプレーンシステムになりました。

2方向から同時にX線を出すことが可能になり、特に心血管および不整脈の治療時において正確にまた迅速に行えるようになりました。

## 目 次

- ◆ New 放射線治療装置の特徴
- ◆ メディカルバースセンターでお産してみませんか?
- ◆ 栄養指導だより: 体重測定
- ◆ 市民公開講座:よくわかる!肺がんのおしらせ
- ◆ 診療科紹介:眼 科
- ◆ 編集後記

## ~ ご自由にお持ち下さい ~

## New 放射線治療装置の特徴

放射線治療装置の老朽化に伴い昨年12月より更新工事を行って参りましたが、このほど工事が完了し、8月より新しい装置での治療が始まりました。 新装置の特徴をご紹介します。

① 放射線の安定性がよく、これまでより短時間で治療ができる 治療台の上でじっとしている時間が短くなりますので、これまで より楽に治療を受けていただけます。

#### ② 放射線の出口の形を正確に調節できる

病気の広がりに合わせて放射線のかかる範囲を正確に調整し、放射線をあてたくない ところを避けることができるため副作用の軽減に役立ちます。

#### ③ X線の透視画像やCT画像を用いて正確な位置決めを行う

これまでの放射線治療は皮膚に印を書いて位置を決めることが一般的でしたが、X線の透視やCT画像を用いてより正確な治療が行えます。

#### ④ 高精度放射線治療に対応している

定位放射線治療(いわゆるピンポイント照射)や強度変調放射線治療(IMRT)などの高精度放射線治療に対応できる機能を備えています。

この装置を用いて安全で質の高い放射線治療を提供できますよう、スタッフー同頑張ります。 (文責:放射線治療科長 飯島光晴)

## メディカルバースセンターでお産してみませんか?

メディカルバースセンターが4月1日に開設し、7月1日現在45件のお産がありました。助産師外来でも、皆さんのお話をゆっくり聞きながら、お産にむけて一緒に準備をしていきます。里帰り出産をお考えの方も、妊娠経過が問題ない場合は、メディカルバースセンターでの出産が可能です。私たち助産師とともに、メディカルバースセンターで出産してみませんか?



バースセンターでは、チーム健診をおこなっています。助産師の健診と、医師の行う健診を週数にあわせて行っています。完全予約制で1人30分、助産師とじっくり話し合いをして、あなたのお産をサポートさせていただきます。

お部屋は、家庭的な雰囲気を出すよう配色にも こだわり、優しい色使いになっています。他の お母さんとのおしゃべりも楽しいものです。



周産期センタースタッフー同、安心・安全なお産ができるよう努力してまいります。 ご意見・ご質問等ありましたらお気軽にお問い合わせください。皆様にお会いできることを楽しみにしています。

## 栄養指導室だより: 体重測定

みなさん、いつも栄養指導室のご利用ありがとうございます。

外来の栄養指導時間は右記のとおりです。基本的には予約制ですが、いつでもご相談ください。 ただし、医師の指示が必要ですので、受診の際に主治医までお申し出をお願いします。入院患者さんは各病棟またはお部屋にてお話させていただきます。

栄養指導室	月~金 9~12時 13~17時
外来診察室	火・水 13~16時
精神科診察室	木曜日 9~16時

さて今回は体重測定について述べます。体重は栄養評価をするうえで大切な指標になります。栄養指導をお受けになる際には必ず体重測定をおこない、体重評価を行います。現在、栄養指導室には、共同研究施設である名古屋の金城学院大学(食環境栄養学科)からお借りしているInbodyという体重測定器(インピーダンス法)があります。これは、乗るだけで、メタボの指標となるウエスト周囲径や体脂肪率、筋肉量、骨格筋量、浮腫率などが測定できます。ご自分のからだを知る機会になります。ぜひ栄養指導をお受けになり、Inbodyで測定してみることをお勧めします。

## Memo

標準体重 身長m×身長m×22

BMI(Body Mass Index) : 体格指数 = 体重(kg) ÷ 身長(m)<sup>2</sup>

※ 25以上は肥満です。

※ ウエスト周囲径 男性85cm以上 女性90cm以上は肥満です。

#### [Inbody]

## 市民公開講座:よくわかる!肺がんのおしらせ

平成21年10月3日(土)14時から第8回市民公開講座を開催します。今回のテーマは「肺がん」です。肺がんは悪性新生物(がん)の中でも男性部位別死亡率第1位の疾患であり、患者数は増加の一途をたどっています。禁煙に対する社会的関心も高まるなか、タバコと肺がんの関係や肺がん治療の最新情報を市民の皆さんにわかりやすく説明します。また、当日会場において看護師による「禁煙相談」を行います。タバコをやめたいと思っている方、是非ご相談ください。

日 時 平成21年10月3日(土) 14:00~16:30(13:30開場)

易 所 アクトシティ浜松コングレスセンター31会議室

定員 330名(直接会場にお越し下さい)

講演1:県西部浜松医療センター呼吸器センター長 笠松紀雄

「肺がんの現状と診断」

講演2: 県西部浜松医療センター呼吸器外科医長 船井和仁

「肺がんに対する最先端の治療法

~エビデンスに基づいた化学療法から手術まで~ |

講演3:県西部浜松医療センター放射線治療科長 飯島光晴

「肺がんの放射線治療 一放射線を使うのはどんな時?ー」

講演4:ヤマハ健康管理センター所長 倉田千弘

「あなたにもできる肺がん予防」

肺がんに関する質問をメールにて事前にお寄せ下さい:koho@hmedc.or.jp

